

## フードロス削減のためのプログラムをスタート

2024年、グッディではSDGs活動の一環として新たなプログラムがスタートしました。  
全国の催事店舗が閉店した後、消費期限を迎える洋菓子たちの  
廃棄量を減らす取り組みです。

### SDGsの17項目のうち12項目目にあたる【つくる責任・つかう責任】

スタッフとしてずっと気にかかっていた、閉店後の廃棄。  
発注の数を減らすことが一番に浮かぶ対策かもしれませんが、  
【チーズケーキとスコーンのお店】としてショーケースいっぱい洋菓子が並ぶ。  
そんなワクワクをお客様に提供してきたグッディです。  
並べる数を減らすことは、最善策とは言えません。  
お客様、そして私たち従業員のワクワクをそのままに、  
フードロスを削減するにはどうしたらよいか。  
まずは商品を売り切る工夫をしていきたい。  
そんな中で実行に移した案が、

### 『もったいないから SDGs』プログラムです。

催事店舗の閉店が近づいて、廃棄が見込まれる、消費期限の近い商品、などの在庫状況  
に応じ、半額(50%OFF)で販売をすることで、廃棄量を減らす取り組みです。

この取り組みにより、グッディのことが少し気になっていたお客様が、気軽に購入いた  
だける。そして社会課題の一つであるフードロスへの対策となる。そんな一環になれば  
と考えました。

また、このプログラムの売り上げによって、よりワクワク広がる商品の開発や、まだお  
じゃまできていない都市への催事出店に繋げ、お客様へ還元できたらと考えています。

このプログラムは、従業員たちに裁量があることも大きな特徴です。

割引を行うかは、各催事店舗で毎日状況を見て現場判断をする必要があります。

「単なる会社としての社会課題だけでなく、現場スタッフ・お客様とコミュニケーション  
をとることで、一緒にフードロス削減を取り組んでいきたい。」（代表 小澤）

地球に住む一人の人間として、小さな行動の積み重ねが、社会を変える礎につながると  
信じ、グッディはSDGs活動の取り組みを続けてまいります。

